

妙法華寺便り

令和3年12月号

◇ 行事報告 ◇

11月18日（木）摩利支天月例祭

摩利支天月例祭を通常の形で執行させて頂きました。法話では、木剣修法の時に唱える「陀羅尼」の意味について話がありました。

薬王菩薩は「わたしは今、法華經を説くものに陀羅尼呪を与えて、これを守護しましょう。」勇施菩薩は「わたしも法華經を読み、誦し、持つものを守るために、陀羅尼を説きましょう。この陀羅尼を得たならば、どんな悪鬼らが来て邪魔するとしても、果たせないでしょう。」毘沙門天は「わたしも衆生を憐れみ、法華經を説くものを守るために、陀羅尼を説きましょう。」持国天王は「世尊よ、わたしも陀羅尼神呪をもって、法華經を持つものを守りましょう。」鬼子母神と十の羅刹女は「わたしらも法華經を読み、誦し、持つものを守り、災いを除きましょう。」「いかなる鬼神たちにしても、また病にしても、あるいは誘惑にしても、夢の中でも、法を説くものを悩ますことはないであろう。私の頭の上に登る事があっても、仏道の指導者を悩ます事があってはならない。もし法を説くものを悩ますものあれば、そのものの頭は阿梨樹の枝（注1）のように七つに割れて裂けるだろう。」云々。このように「陀羅尼呪」によって、諸天善神が法華經を信じる者を守護することを誓われているのです。



お題目を持って（すなわち法華經を信じること）コロナ禍でも心を安穩にして過ごしたいですね。

※注1）「阿梨樹」とは、インドにあったとされる木で、「枝」は花と推測され、落ちると七つに分かれるとされる（コトババンクより）

11月20日（土）・21日（日）日蓮聖人御会式

日蓮聖人第740回の御会式を20日午後6時より逮夜の式典、翌日は午前10時と午後2時半より法要式を、総代世話人をはじめ檀信徒の方々と共に執り行いました。組寺からは、大坊・不変院様と正善院様・大乘院様にご参拝くださいました。

また、令和元年より御志納のあった檀信徒の方には回向札を授与させて頂いております。御札には日蓮聖人の御遺文の一説を載せております。今年は「十王讚歎抄」の一文です。父母の恩を偲びお題目をお唱え下さい。



二日間に渡る式典の準備、当日のご接待、片付けをして下さった皆様、ありがとうございました。

六地藏様

六地藏様の涎掛けを交換しました。妙法華寺供養塔台地に六地藏をお祀りさせて頂き一年が過ぎました。すっかり色あせた涎掛けを新調しました。お地藏様は赤が似合いますね。



◇ 行事案内 ◇

除夜の鐘

1月1日(土) 午前零時を合図に、お寺の鐘を108回撞きます。集合時間は、31日午後11時50分です。除夜の鐘について、清らかな気持ちで新年を迎えましょう。

摩利支天大祭・御札等の跋魂祭

新年1月18日(火) 午前10時より本堂にて跋魂祭を執行し、引き続き摩利支天月例祭を拝殿にて執り行います。古い御札や塔婆・予めお預かりした位牌などの魂を抜いて自然のものへと戻って頂く儀式です。当日の受付もごございますので、当日御札などをお持ちになる方は、開始20分前には受付をして下さい。

開運星祭(厄除け祈願)

2月4日(金) 午前10時より本堂にて執行いたします。

「大摩利支尊天」の御神力をいただき「年中安全」の御守護が受けられるように、厄除け諸難除けの特別祈禱を行います。

申し込み用紙を同封させて頂いておりますので、是非、お申し込み、ご参加ください。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方は、後日、お送りいたします。

◇ お知らせ ◇

本年も9月までは新型コロナウイルスの影響で大変な年となりました。10月頃から感染者も減少し、この原稿を書いている時点では非常事態宣言も解除された状態です。檀信徒の方々におかれましては不安な日々であったと思います。お見舞い申し上げます。

本年も当山では新型コロナウイルスによる大きな影響もなく、無事に諸行事を修めさせて頂き、日々過ごさせて頂きました。これもお釈迦様、日蓮聖人、摩利支天様をはじめ神々のご加護と檀信徒の方々の護持・ご協力のおかげと思っております。ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

合 掌